

# 石油連盟における自主行動計画(2016年度)

## ＜産業保安の取り組み＞

### (1) 会員企業の取り組み状況

#### ① 企業経営者の産業保安に対するコミットメント

- 経営者は、従業員の安全意識を啓発し事故防止につなげるため、従業員に向けた産業保安に関するメッセージや基本方針の発信、定期的な現場査察・意見交換等を行うなどして保安の重要性の浸透を図る。

#### ② 産業保安に関する目標設定

- 産業保安に関して、重大事故ゼロ等の定量的・具体的な目標を年度毎に設定し、達成に向けた施策を立案・実行する。業界としては、重大事故をゼロとすることを目指す。

#### ③ 産業保安のための施策の実施計画の策定

- 各社の事情に合わせ、腐食対策等の設備管理、非定常時を含むリスクアセスメント、教育訓練等の施策の実施計画を策定する。各社の事情に応じつつ、「高圧ガス保安のスマート化」において整備中の新認定事業所制度等の活用も視野に入れ、リスクベースド・アプローチを意識して効果的に取り組む。

# 石油連盟における自主行動計画(2016年度)

## (1) 会員企業の取り組み状況(続き)

### ④ 目標の達成状況や施策の実施状況についての調査及び評価

- 各社・各事業所は、安全管理目標の達成状況や施策の実施状況について定期的にフォローアップを行いその効果について検討を行うとともに、検討結果を次期目標の設定や保安活動計画の立案等に反映する。

### ⑤ 自主保安活動の促進に向けた取り組み

- 各社は、安全・法令遵守の重要性を再認識し、自主保安活動の促進に向け、経営トップと現場との意思疎通の充実・強化による保安意識の一体化、監査組織の機能の見直し、申請業務の法的知識に関する教育の充実・強化や第三者的視点を活用した保安活動計画の見直し等を行っている。

# 石油連盟における自主行動計画(2016年度)

## (2) 業界団体の取り組み状況

### ① 業界内外で発生した事故の原因や教訓の共有

- 事故事例の水平展開について、石油化学工業協会と共通のCCPS (Center for Chemical Process Safety)の指標を採用し、展開内容についても、原因や対策の記載を徹底・拡充している。併せて、事故情報説明会を実施する。

### ② 産業保安に必要と考えられる能力について企業が実施する教育訓練の支援

- 安全に関する専門家の育成を目的として、石化協、日化協、石連の3団体共催で、これら団体の会員企業を対象に、官・学・産からの講師による講座「産業安全塾」を開講する。

### ③ 企業の産業保安活動に関するベストプラクティスの共有

- 各社が取り組んでいる安全管理活動の最新情報を紹介し合う場として、「安全管理活動連絡会」を年2回程度開催する。

### ④ 企業が実施する安全文化の向上に向けた取り組みの支援

- 「保安規制のスマート化の取り組み」等を通じたリスクベースド・アプローチを推進するため、今後新設される新認定事業所制度等の運用開始に向けた検討に協力する。
- また、総合資源エネルギー調査会資源・燃料分科会報告書(2015年7月)等において、製油所操業の中で生まれる各種データが、事故・トラブルの予兆検知という目的に対して十分に統合管理されず、解析・活用されていないとの指摘がある。このため、本年度に国が行う配管内面腐食の予測モデル構築の実証事業に協力する。